



業界初！！ テイジンの100%カスタマイズパラソル本格販売開始

帝人フロンティア

欧米では美しい街並みの名脇役として、また人々の憩いの場として欠かせない存在であるパラソル。インバウンドが急増し、テラス付きの飲食店などが増える中、国内でも需要が高まっている。ただ、国内の一般的なパラソルの耐久年数は平均2～3年と短く、修理や買い替えに伴う出費も少なくない。昨年、帝人フロンティアはこの問題を解決した、高機能でデザイン性の高いパラソルを開発。新たな空間演出やPRツールとして、可能性を広げている。

**アルミ素材で高い耐久性
防災機能付きの安心も**

日本初のレーヨンメーカーとして発足し、現在は、「マテリアル」「ヘルスケア」「IT」という3つの異なる領域において事業を展開しているテイジン。その繊維・製品事業グループの中核会社である帝人フロンティアは昨年、高機能でデザイン性も抜群のパラソルを開発した。同社は、装飾テント生地を製造で60年以上の歴史を持っており、全国2000社に及ぶ専門施工会社と共に、様々なテントを開発してきた。このノウハウを活かし、誕生したのが「テイジンのパラソル」だ。

その特長は大きく3つある。まず1つは支柱、骨材にアルミ素材を使っているため、非常に丈夫で耐久性が高いこと、そして修理が容易なことだ。「塩水、雨水さらには紫外線にも強い」ため、経年劣化や腐食が少なく、約10～20年、使用することが出来ます。しかも、本体自体が非常に重いので、少々の風では折れることもありません。台風などの場合は、閉じることがもちろん、大人2～3人、大きいタイプでも5～6人で動かすことができますので、安全な場所への移動も可能です」と帝人フロンティアの召古憲康氏は語る。さらに骨組、生地などパーツごとの交換が業者を呼ばずとも自分たちでできるため、メンテナンス費用も抑えられる。パーツは常に国内にストックしてお



帝人フロンティア 繊維資材第一部
大阪キャンパス資材課 課長
召古 憲康氏

テラスなどのパラソルに燃え移るといった事故もあり、その対策としても注目されている。

**色、柄、形、ロゴ…
全て自在に
カスタマイズを**

3つめであり最大の特長は、デザイン性の高さ

り、供給もオンタイムでスピーディ。修理以外にも、テント部分だけを「着せ替え」してリニューアル感を演出することもできる。2つめの特長としては、防災機能があることだ。通常、仮設物であるパラソルには消防法上の規制はなく、防災機能がない製品が多くを占める。しかし実は、仮設物とは言えど大型になると簡単には動かせないため、防災機能も必要になっているのだ。特に昨今、熱中対策として、①ホテル、②大手テーマパーク、③レストラン、④大型商業施設、⑤プールでは、熱中対策としてパラソルの設置が増えており、防災機能のある「テイングンのパラソル」へのニーズは高まる一方だ。また、全館室内禁煙のホテルが増える中、バルコニーから吸い殻が落ちるケースも有り、その火が

にある。まず、パラソルの生地は無地23色、ストライプ柄も45柄と、合計68色国内随一の品揃えを誇る。また、例えば神社仏閣向けに墨絵を、沖縄風なら琉球柄で…と、オリジナルデザインも可能。テントの形も暖簾風に、内幕をつけて…と自在にカスタマイズできる。「ホテルや飲食店の名前やロゴの刺繍やプリントもできますので、PR効果も十分期待できます。例えば、プールサイドやテラスで使用するパラソルに期間限定で飲料メーカーの



帝人フロンティア 繊維資材第一部
大阪キャンパス資材課
長澤 洋男氏

ロゴを入れて、タイプアップをしていた…という企画も骨材さえ揃えておけば可能です」と、同社の長澤洋男氏。パラソル自体も、形、大きさが異なる9種類あり、最大6×6mと大型のものも。だから、従来2、3本置いておいた場所を1本でカバーしたり、反対に小さなものを並べてインパクトを出すこともできる。長方形、八角形など形も様々で、支柱を従来の中央ではなく端に取り付けることも可能なため、支柱によるテッドスペースを解消して席数を増やすことも。さらに360°回転もできるため、日の当たり具合や設置場所に合わせての微調整もOK。まさに、様々なニーズに沿って変幻自在なアイテムと言えるのだ。

**家具や植栽と合わせた
唯一無二の空間の創出も。
付加価値を生み出し、集客へ**

帝人フロンティアでは、このパーフェクトとも言えるパラソルの次なる展開として、空間そのものの演出を始めている。例えば、ホテルや飲食店でテッドスペースになっっている中庭や小道などのスペースも、そこにパラソルを置き、間接照明を当てればそれだけで非日常空間が完成する。さらに、中にパラソルと同柄のソファやテーブルを配置したり、春夏秋冬でそのデザインが刷新されたとしたら…。『そこは今トレンドの“SNS映え”を押さえた名物スポットとなり、集客の大きな付加価値となりえるでしょう。パラソル、インテリアのデザインとメニューをリンクさせるのもい

お問い合わせ先

帝人フロンティア株式会社
大阪キャンパス資材課

住所：大阪市北区中之島3丁目2番4号
中之島フェスティバルタワー・ウエスト31F

電話：06-6233-3154

担当：長澤

URL：<http://tent.teijin.co.jp>

いかも知れません。パラソルのそばに緑を多く植樹して「都会のオアシス」を演出することもできますよ。繊維メーカーとして、インテリアやエクステリアメーカーと長らく協力関係にある私達だからこそ、空間全体をトータルでコーディネートしたオンリーワンのご提案もできると自負しています。ぜひ『このスペース、使っていないんだけど…』というところから、気軽に相談いただきたいですね」と召古氏。

晴れの日も、雨の日も、昼も、そして夜もパラソルの下で風や自然を感じながら会話を楽しむ欧米の文化。パラソルを通じてその文化を日本にもっと浸透させ、付加価値のある空間を生み出していきたい。さらに、テント業界そのものを牽引して、メジャー産業へと盛り上げていきたい。「テイングンのパラソル」の発売から2年で見えてきた想い。帝人フロンティアの挑戦は、まだ始まったばかりだ。